

KUMAMOTO

The Weekly Bulletin
GREEN Rotary-Club

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

2016~
2017年度
テーマ

国際ロータリー

「人類に奉仕するロータリー」

R.I. 会長 ジョン・F. ジャーム

地区方針

「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

R.I. 2720 地区 ガバナー 前田眞実

熊本グリーンRC

「ロータリーを育て行動しよう」

熊本グリーンRC会長 河島一夫

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河島一夫 ■幹事：葉高源 ■会報担当：長野義文
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2017年5月15日】

第1258回

2016-2017年度 第38回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「我等の生業」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (河島 一夫 会長)

なし

友情の握手

会長スピーチ (河島 一夫 会長)

今日は、年度最後のクラブ協議会です。この一年の各委員会の報告と反省を述べて頂きます。来年度に向けての協議会でもありますので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。それにしても参加者が少ないですね。この後、協議会に時間を費やしますので、会長の時間はこれで終わります。

幹事報告 (中島 三千代 次期幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)
 「きみも起業してみないか！」と題して、高校生・大学生・専門学生を対象とした職業奉仕プロジェクトを開催予定しており、先日からご案内をしておりますが、対象者の参加者が少なく、今一度のお呼び掛けを

お願い致します。尚、ロータリアン1名は義務出席でお願い致します。

出席報告 (石浦 順一 会員)

	会 員 総 数	21名	出席率
5月15日	出席免除会員数	2名	63.16%
	計算上会員数	19名	
	出席会員数	12名	
5月1日	前回の出席会員数	名	
	メイクアップ数	名	
	修正出席会員数	名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
休会			

委員会報告

①「第3回ほろニガ会」開催

報告者：河野景治次年度会長

日時：7月5日(水) 受付18:30～/ディナー/19:00～21:00

場所：ザ・ニューホテル熊本(旧：ホテルニューオータニ)

料金：ほろニガ会会員5,000円 ビジター：15,000円

「至福のイタリアン」をテーマに東京・西麻布にあるイタリアン料理店の老舗「リストラン

卓話予定

5/22 丸山 徹 会員

5/29 松村 秀逸 会員

6/5 ★熊本グリーンローターアクトとの合同例会
「熊本グリーンローターアクト活動報告」

6/12 「次年度第2回クラブ協議会」★次年度委員会活動方針発表

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

日本の経営者の99.3%が中小零細企業と言われています。従って日本のロータリークラブは、この人達によって支えられていると言っても過言ではないでしょう。出席もおぼつかない中で、早出の受付事務はかなりの犠牲を伴うものと考えられます。中島担当長、

ない中で、早出の受付事務はかなりの犠牲を伴うものと考えられます。中島担当長、葉幹事、山下、荒木、福島 of 諸会員のタスキ姿が目につかびます。ご苦労様でした。この担当だけは当番制度の持ち廻りでいいのではないのでしょうか。

・検討事項

次の諸事項が検討事項として揚げられていましたが、未検討の状況でした。次年度に期待します。

○イ創立30周年準備委員会の設置

○ロいいこと応援プロジェクトの点検と具体的取組み

○ハ暴れん坊ガールズ（女子野球チーム）応援対応

○二週報に会員投稿コーナー「グリーン瓦版」の設置

◆ クラブ広報委員会

(1) 本年度活動方針と主要目標

クラブ広報委員会の役割は、ロータリーに関する情報を一般の人々に伝え、クラブの奉仕活動を広報するための計画を立案、実行することです。効果的な広報を行うことによって、地域社会や世界のニーズに取り組むロータリーの活動を多くの人々に知ってもらうことができます。クラブ会員の減少で委員会活動も制約されてきています。今年度は、クラブ内部への広報とクラブ外部への広報を確実に実行することで、会員増強委員会と協力し、会員の勧誘活動を支援したいと思います。

また、「ロータリーの友」への投稿も目標とします。

◎ 評価と反省

「ロータリーの友」への投稿を目標にしていたが、現段階では目標達成には至っていません。今年度は外部に発信できるような活動がクラブ内で行えていません。

会員数が少ないのが原因でしょうが、これからは委員会の垣根を超えての活動が必要になってくるのではないのでしょうか。

ホームページの週報更新は定期的に行っていると思います。余裕があれば、卓話スケジュールについても進めていけたらと思います。「ロータリーの友」の紹介は、6月も行う予定です。

(2) 目標達成の具体的計画と実施状況

今年度も昨年度に引き続き、毎月の「ロータリーの友」の紹介、「ガバナー月信」の紙ベースでの配布を行うこととします。

会員からの要望が多く、電子媒体に不慣れな会員が多いのでしばらく続ける必要があると思います。

外部への広報活動としては、ホームページやフェイスブックの活用もこれまで通り行っていきます。マンパワー不足ではありますが、メール等を利用しながらホームページの更新を遅滞なく行っていききたいと思います。

◆ 会員増強委員会

(1) 本年度活動方針と主要目標

本年度目標は3人増強で会員25人が目標でした。

◎ 評価と反省

上の目標を掲げた時は3人の心積りがありました。しかし、当人の事情で積極的に働きかけが出来ませんでした。

(2) 目標達成の具体的計画と実施状況

・昨年8月29日の増強フォーラムでは、会員1人1人の増強の心構えを発表して頂きました。増強するにはクラブの活動が鮮明でなければならないとの意見あり。

・12月12日の増強フォーラムでは、どのクラブでも増強は大きな課題となっていて、個性的なクラブ作りをしないと行けないという意見が出て、増強にもクラブ自体が土台であることを知らされました。

◎ 評価と反省

増強は0人で、予算を使用することはありませんでした。

◆ 奉仕プロジェクト委員会

(1) 本年度活動方針と主要目標

本年度は「いいこと応援プロジェクト」の事業提案はありませんでした。全体的に私の力不足で実行出来ませんでした。

で実行出来ませんでした。

(2) 目標達成の具体的計画と実施状況

①「いいこと応援プロジェクト事業」として、年間を通じて会員からの要望を受付け、検討し、予算枠内での事業化を図っていく。

〈主旨〉：世の為、人の為になると思われる全ての活動に対する支援。

② ホタル保護育成支援： 予算5万円 ホタル鑑賞例会を実施する。

③ 「暴れん坊ガールズ」（女子野球チーム）活動支援

④ 熊本市立図書館にブックカバー進呈（仙波会員より提案あり）

⑤ 「職場訪問」を計画、実行

◎ 評価と反省

① 事業提案がありませんでした。

② ホタル観賞例会は今年は出来ませんでしたが、次週5/22 に西里まちづくり委員会の方が来訪予定ですので、今年度支援金5 万円はその際お渡し致します。

③11/21「暴れん坊ガールズ」について。例会卓話の時間にRKK テレビ「ウェルカム」で放映された映像を見て、仙波会員より説明を聞いた。

④ 実施に至りませんでした。

⑤ 色々と案は出ましたが、実施には至りませんでした。

◆ 青少年奉仕委員会

(1) 本年度活動方針と主要目標

① ローターアクトとの交流（例会に全員1回は出席してほしい）

② 会員増強の協力をお願いします。（現在会員数：男性4名・女性2名で6名）

③ 青少年交換のチャンスがあれば会員へ知らせたい。

(2) 目標達成の具体的計画と実施状況

① ローターアクトの例会だけでなく、食事会やスポーツイベントにも参加してもらうように働きかける。

② ロータリーの各会員の企業より紹介してもらう。

③ 会長及び地区委員に青少年交換について調査する。

◎ 評価と反省

* ロータリアンによる卓話（2回）：7月21日 山下 佳介 会員

2月2日 河島 一夫 会員

* アクトとの合同例会（3回）：9月4日（月）活動報告と今後の計画

3月6日（月）3分の2が終了したところでの活動報告

6月5日（月）今年度活動報告をして頂く予定

* アクトとの親睦例会（1回）：12月17日（土）「ボウリング例会」

福島アクト担当長が参加

* アクト主催の熊本中心市街地の一斉清掃とポリオ募金：5月7日（日）白川公園～ 下通（4名参加）河島会長、仙波会員 荒木会員、本田会員



H29. 5. 7 アクトは下通入口でポリオ撲滅募金活動



H29. 5. 7ロータリー家族一斉清掃
（白川公園で開会式）

河島会員、仙波 会員、荒木会員、本田会員が参加

◆ ロータリー財団委員会

(1) 本年度活動方針と主要目標

1. ロータリー財団を理解すること及び寄付の意義の周知

2. ロータリー財団セミナーへの参加

3. 米山奨学生支援セミナーへの参加
4. ポリ才撲滅の支援
5. R財団補助金利用の研究

◎ 評価と反省

- ・委員長栗山がセミナーへの参加も出来ず反省しております。
- ・「R財団・米山奨学部門合同セミナー」9月17日（土）：ホルトホール大分河島会長と米山担当の本田会員には参加して頂き感謝しております。
- ・「R財団部門・地区補助金管理セミナー」1月29日（日）：ホルトホール大分大友次期ガバナー補佐と中島三千代次期幹事には参加して頂き感謝しております。

(2) 目標達成の具体的計画と実施状況

1. 米山奨学生の卓話を実施する
2. 11月のロータリー財団月間にスマイル箱にて米山特別寄付を募る
3. 100万ドル食事にて財団寄付に少しでも充てる

◎ 評価と反省

- ・米山奨学生 張 瀚博（チョウカンハク）君に卓話を頂いた。
（国籍：中国 熊本大学コミュニケーション情報学科4年生）
- 当日は世話クラブ：熊本南RC（カウンセラーの園田修司氏にも来訪頂いた。
- ・11月のロータリー財団月間のスマイル額53,000円は昨年同様に米山特別寄付金として寄付致します。
- ・100万ドル食事を行い、財団寄付に少しでも充てる様にしている。

◆ 会計

(1) 本年度活動方針と主要目標

1. 前年に引続き、CLPに順じたクラブ予算作成補助と、承認された予算を管理する。
2. クラブ資金とその口座を維持管理する。
3. 前年に引続き本クラブ会計のさらなる適正化を図る。
4. 期間を限定する継続事業についての事業会計の運営。
5. 奉仕プロジェクト募金の管理

(2) 目標達成の具体的計画と実施状況

1. CLPに順じた本会計の事業予算については、理事会に承認を得るものとし、奉仕プロジェクトの予算は理事会承認の後、スマイルからの支出を活用する。
2. 特別会計の入出金については、理事会承認事項以外での流用は行わない。
3. クラブ管理運営、クラブ広報、会員増強の予算は会員の会費収入の範囲内にてまかなう。
4. スマイルからの支出においては事業計画期間を厳守する。

※ 4月末現在、スマイル募金額、511,000円

5. 毎例会にて奉仕プロジェクト委員会が主管する「奉仕プロジェクト募金箱」における募金についてその管理を行い、予算執行については理事会承認をいただくことを基本とする。※ 4月末現在、奉仕プロジェクト募金額、79,344円

◆ S. A. A.

(1) 本年度活動方針と主要目標

SAA の役割として、例会が楽しく秩序正しく運営されるようつねに心を配り、気品と風紀を守り、会合がその使命を発揮できるように設営、監督する責任を有します。また、能率的な会合の維持につとめ、来訪者に良い印象を与えるようにします。

本年度のクラブテーマ「ロータリーを育て行動しよう」を達成のために助力します。

◎ 評価と反省

例会の時間配分・来訪者への気配りは、会員皆様の協力で概ねうまくいったと思います。残念ながら、出席率向上は叶いませんでした。長期欠席者への出席要請がうまくできませんでした。

また、副SAA 不在のため、私が欠席の時にSAA を務めていただきました会員の方には大変お世話になりました。

(2) 目標達成の具体的計画と実施状況

- ① 例会を定刻に開始し、時間配分を考えて、適切な進行にあたる。

会長メッセージ



皆さんがこれを読んでいる頃は、6月10日から14日に米国ジョージア州アトランタで開催される第108回ロータリー国際大会の最終的な準備が着々と進んでいることでしょう。「人類に奉仕するロータリー」の素晴らしい年だけである「ロータリー財団を通じて、「世界でよいこと」を尽くしてきた100年を祝いましょう。これまでの中で最大の、そして最高のロータリー大会になると楽しみにしています。

ジョン・F. ジョーンズ

まだ参加の計画を立てていない方も、まだ登録が可能です。せひ Oriconvention.org/ja/ から登録ください。4万人近くのロータリーマンとライオンを分かち合い、意欲を高め、素晴らしい時間を共に過ごすことほど、ロータリーの素晴らしい年の区切りを祝うほど良い方法はありません。

今年の大会には、友であり、ボリオ撲滅のパートナーであるビル・ケイツ氏もかけつけ、講演して下さる予定です。6月9・10日に予定されている特別な会長主催平和会議に一足先にアトランタにご到着ください。会長主催平和会議では、キング牧師とコレット夫人の未婚、ハーニス・A. キング氏が講演します。

私の裏庭ともいえる地元で、国際大会をホストできることを誇りに思います。アトランタは活気に満ちた、近代的なジョージア州の州都で、私の自宅があるデネシー州チャタヌーガ市から、車でわずか2時間のところにあります。アメリカ南部の有名なおもてなしを体験する最適な場所です。

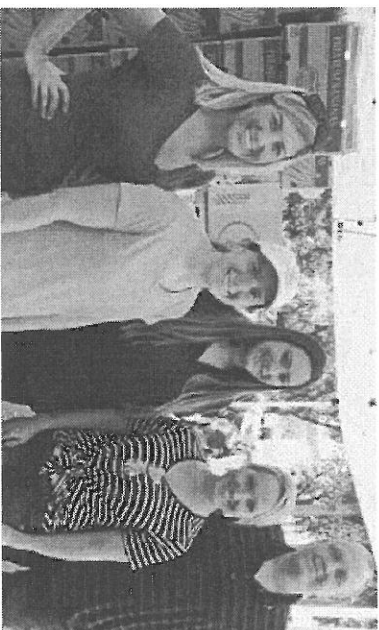
旧友と再会し、新しい友人をつくるだけでなく、100周年祝賀の歩行者天国やアトランタの平和ツアーにくりだしましょう。そでをまくり、ハビタットの家の建築を支援したり、靴ひもを結びなおして、3キロのボリオ撲滅ウォーク・マラソンにも参加しましょう。

さよならの前に、友愛の家でもう一度ロータリーに参加してください。ロータリー財団の100歳の誕生パーティーは、もちろん、ケーキとアイススクリームでお祝いします。

きっと、信じられないほど素晴らしい国際大会になるでしょう。皆さんとお祝いできることを、星のジョーと共にお楽しみしております。南部の言葉で、ユオー・ル！(みんな！)アトランタでお会いしましょう！

クラブ相談室

衛星クラブで拡大する フロリダの地区



クラブ会員と地域の食料支援プロジェクトに参加している米国フロリダ州フォーモイヤーズ・ロータリークラブ会長のケルシー・スコギンズさん(写真中央)。写真提供:ケルシー・スコギンズさん

ロータリー家で育ったケルシー・スコギンズさん(28歳)は、ロータリークラブのかけがえない経験の後、ロータリーに入会することを希望していました。米国フロリダ南部でいくつカラブを訪ねましたが、自分に合うカラブを見つけられずにいました。

衛星クラブを発足してはどうかという地区ガバナーの提案を受け、冗談で「ハッピーアワーカラブ(夕方の酒飲みカラブ)」という名前をつけて衛星クラブを発足しました。

彼女のクラブは衛星クラブとして始まったわずか1年後、40歳以下の会員が半分近くを占める正式なクラブとして9月に認められました。「私たちのクラブは、若く、いろいろな人がいます。でも、一番大切なのは、みな奉仕に熱心なことですよ」と、クラブ会長のスコギンズさん。

スコギンズさんのフォートマイヤーズ・サンセットクラブは、南フロリダ地区の3つの衛星クラブの一つでした。スコギンズさんのクラブと同じ時期にクラブに正式に認められたのは、ボニータビーチ・サンセットクラブです。ここでは、月に一度の例会を開催し、ネットワーキングや交流イベントを行うことで会員を増やし、ほかに地域プロジェクトを実施しています。

「一言で言うと、楽しいことをすれば、会員を呼び込み、維持することができまうとボニータビーチ会長で元ロータリー奨学金受領者のリック・ベリさん。

ダリル・キースさん(地区ガバナー補佐)は、彼のシャローロットハーバー・モーニングクラブから将来の会員が去るのを何度も見てきたので、第3の

衛星クラブを発足しました。「ロータリーは大好きだけど、週一回の朝の例会には出席できないと多くの人が言っていました」とキースさん。「夕方の衛星クラブなら、その人たちが戻ってくるのではないかと思います」

そして、現にそうなったのです。会員が22人となったこのクラブは、2〜3週間のうちに、正式にクラブに認定される予定です。去年の規定審議会のおかげで、衛星クラブが正式なクラブに格上げされることが容易になりました。審議会は、衛星クラブ同様、例会の形式や開催の頻度をクラブが自由に決めることができ、月に最低2回は例会を開催しなければなりません。

「衛星プログラムと、規定審議会の最近の決定事項のおかげで、私たちの地区では、クラブが3つ増えました」と、キースさん。「これは、良い兆しだと思います。地区だけでなく、ロータリー全体にとって有益です」

⑨ 新しいクラブ運営の柔軟性について